

地域の魅力に触れて体感するSDGs

発行：宮城県松島町




# 松島

×

# 探究



- 
- STEP 1 事前学習 ..... P.4
  - STEP 2 現地での学習 ..... P.10
    - 探究スポット案内 ..... P.12
  - STEP 3 まとめ 松島町の魅力 ..... P.20
  - STEP 4 発展 自分たちの地域の魅力 ..... P.22

年

組

番

名前

# SDGs とは



参考文献：国連ホームページ (<https://www.un.org/sustainabledevelopment/>)

「SDGs」は、「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略称です。全ての国連加盟国が2030年までに、貧困や教育、環境など17の分野にわたる目標の達成を目指していて、「誰一人取り残さない」という大きな理念を掲げて、世界各国の人たちが取り組んでいます。

SDGsは、17の目標がバラバラに存在しているのではなく、それぞれが関連しています。「世界の事だから自分には関係ない」と思いがちですが、**実はみなさんの小さな取り組みの積み重ねが、地域や日本全体、世界の未来をよくすることにつながっているのです。**みなさんがSDGsを意識する際に大切になるのは次の3つのPOINTです。

## 3つのPOINT

テーマの統合性	テーマをつなげて統合して取り扱うことが重要です
同時解決性	目標は関連し合っているのでも同時に課題を解決します
協働性	世代や立場、国を超えて力を持ち寄る必要があります



このワークブックでは、これらSDGsの観点となる部分に上記のマークを掲載しています。

それでも、何を意識すればよいのかピンとこないかも知れません。**そんな時はまず、自分が将来まで大切にしたい、残したいものを探すことから始めてみましょう。**そのために少しでも行動することが「持続可能性」につながります。

SDGsは前述のように複数の問題が絡み合っていますから、まず皆さんの身近にどのような出来事が起きているかを広い視野で全体的に見わたしてみることが大切です。その際に重要になるのは下記の3つの領域を意識する視点です。

## SDGsで配慮すべき3つの領域

環境	社会・文化	経済
<ul style="list-style-type: none"> <li>・山</li> <li>・川</li> <li>・海</li> <li>・大気、空気（空）</li> <li>・景観、街並み など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建造物、施設</li> <li>・行事</li> <li>・くらし</li> <li>・伝統工芸</li> <li>・制度 など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光資源</li> <li>・農業</li> <li>・林業</li> <li>・水産業</li> <li>・畜産業</li> <li>・交通 など</li> </ul>

# SDGs と地域の魅力

SDGsでは皆さんの身近な問題への意識と取り組みこそが大切です。SDGsをより身近にするためにも、ぜひ、【魅力】(大切にしたいもの、将来に残したいもの)を見つけることから始めましょう。

このワークブックでは、みなさんに実際に「松島」の地を探究していただき、松島町の【魅力】を見いだしていただくこと。そして、その経験を生かして、みなさんの住む町の【魅力】を考えていただくことを目指しています。そのために大きくは4つのSTEPを用意しています。

## 松島町の探究

- STEP1 キーワードを軸にした事前学習
- STEP2 3つのテーマに沿って現地での学習
- STEP3 まとめ 松島町の魅力

SDGsの3つのPOINTを意識しながら、SDGsで配慮すべき3つの領域を軸に魅力を見つけよう。新しいもの(風)と元からあるもの(土)の要素で成る風土の魅力も見つけよう。



## あなたの町の魅力を考える

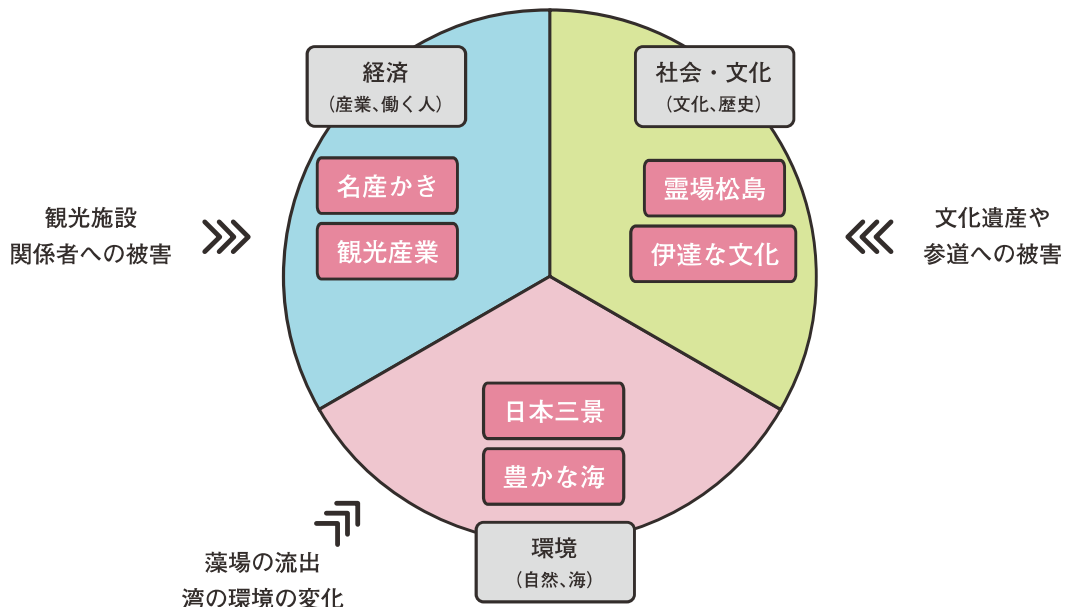
- STEP4 発展 自分たちの地域の魅力を考える

個人で探究した成果をSDGsの3つのPOINTを意識してグループワークにつなげよう。みんなで考えた成果をSDGsで配慮すべき3つの領域でとらえてみよう。それは、どうすれば風土の魅力になるかを考えよう。

みなさんが訪れる松島町には、下図のようにSDGsの3つの領域に対応した、豊かな環境、歴史ある社会・文化、これらを土台とした観光産業をはじめとする経済が成立しています。しかし、東日本大震災で多くの影響を受けました(円の外側)。そのような影響に対して震災復興の様々な努力も行なわれています。

また震災復興の努力はもちろん、松島の魅力を高めてきた取り組みなどは、SDGsの3つの領域で整理することができるでしょう。

ぜひ、松島町を探究してみましょう。皆さんの五感をもって、今の松島町の魅力を感じていただき、左のページの「3つのPOINT」と「3つの領域」を意識することで、SDGsの視点で深く理解し、将来にわたって残すべき魅力について考えてみましょう。



# STEP 1 事前学習

このSTEPの手順

1. 旅行のテーマと意識するキーワードを決める
2. 決めたキーワードについてどのような印象を持つか書き留める
3. キーワードについて調べる
4. 調査したあとの印象の変化や分かったことを書き留める
5. グループごとに現地で訪れるスポットを決めて行程表を作る

## 1 旅行のテーマと意識するキーワードを決める



松島町を探究するにあたり、**旅のテーマと意識するキーワード**を1つ決めよう。  
テーマは6～8ページの「探究テーマ」から選択し、  
キーワードは各テーマのページに挙げられているものを参考にして決定しよう。

私が選んだ旅のテーマは、

選んだキーワードは、

です。

## 2 決めたキーワードについてどのような印象を持つか書き留める



決めたキーワードについて、どのような**直感的な印象**を持つだろうか？  
下の欄に書き留めておこう。

### 3 キーワードについて調べる



キーワードについて調べてみよう。調査した内容などをメモしておこう。

MEMO

### 4 調査したあとの印象の変化や分かったことを書き留める



キーワードについて調査したあとの印象の変化や分かったことは何だろうか？

下の欄に書き留めておこう。

### 5 現地で訪れるスポットを決めて行程表を作る



選択したテーマに応じてグループに分かれ、訪れるスポットを決めて自分たちなりの行程表を作ろう。

訪れるスポットは12～19ページも参考にしながら、9ページに記入しよう。

9ページのマップを見ながら、所要時間と移動時間も考慮してコースを設定しよう。



## 歴史・文化

# 「れいじょう霊場松島と伊達だてな文化」



文化庁公式YouTubeチャンネル  
【日本遺産】政宗が育んだ“伊達”な文化  
<https://youtu.be/KTQc7fmzP7E>

平安時代から続く霊場として、また、多くの伊達家ゆかりの歴史的建造物がのこる松島町。松島町の歴史や文化を学びながら、未来の地域の魅力について考えてみよう。

260余りの島々が浮かぶ松島湾。島々がつくり出す絶景は日本三景の一つとして数えられており、東北有数の観光地として毎年多くの観光客が訪れます。現在は仙台市から車や電車を利用し、約40分程度で簡単に訪れることができる場所ですが、かつての松島はまさに「秘境」でした。自らの足で山道を歩き、峠を越え、ようやくたどり着いた先にある松島の絶景は、人々に極楽浄土ごくらくじょうどを思わせたと言われてしています。そのような理由から古代以降は信仰の場となり、特に中世以降には雄島おしまを中心とした「霊場松島」が展開されていきました。平安時代、秘境とされていたこの地を京都にまで知らせたのは、見仏上人けんぶつしょうにんや頼賢らいけんといった仏法ぶっぽうをきわめた高僧たちです。見仏上人は約10年、その再来とも称えられた頼賢は22年の間、雄島にこもり修行を続けました。以降松島は、その高德にあやかろうと願う修行僧や、歌人たちの憧れの地となったのです。

仙台藩祖の伊達政宗まさむねも松島に魅了されたひとり。国宝瑞巖寺ずいがんじは伊達家の菩提寺ぼだいじとして政宗が力を注いで荒廃していた寺院を再興させたもので、現在もその荘厳そうごんな姿を見せています。町内には円通院えんつういんや五大堂ごだいどう、観瀾亭かんらんていなど伊達家ゆかりの史跡が数多く現存し、日本遺産「政宗が育んだ“伊達”な文化」の構成文化財にも指定されています。



瑞巖寺（ずいがんじ）



五大堂（ごだいどう）



キーワード

秘境 霊場松島 修行僧  
極楽浄土 仙台藩 伊達政宗  
伊達な文化 松尾芭蕉 日本遺産  
日本三景

代表的な探究スポット

瑞巖寺 (12ページ) 円通院 (13ページ)  
五大堂 (14ページ) 観瀾亭 (14ページ) 雄島 (14ページ)



## 環境



松島町公式YouTubeチャンネル  
松島湾のSDGsの取り組み  
<https://youtu.be/v2WieZ7VUIQ>

# 「松島湾の自然と海」

日本三景として多くの人々を魅了してきた絶景、そして、豊かな海の恵みのある松島。松島町の自然や海を学びながら、未来に残すべきものについて考えてみよう。

松島湾が現在の多島海<sup>たとうかい</sup>の姿となったのは、氷河期以降の地殻変動による一部沈下と温暖化に伴う海水面の上昇によるもので、約5千年前と考えられています。松島を京都府宮津市の天橋立<sup>あまのはしだて</sup>、広島県廿日市市の宮島<sup>みやじま</sup>と共に「日本三景」として初めて紹介したのは、江戸時代の儒学者・林春齋<sup>はやししゅんさい</sup>でした。青い海と松の緑が作り出す絶景は、日本を代表する景勝地として今でもなお人々の心をとらえています。

松島湾は、フランスのモンサンミッシェル湾などが名を連ねる「世界で最も美しい湾クラブ」に加盟しています。松島湾の美しい景観を守り、豊かな環境で育まれるかきなど自然の恵みを受けながら人々の生活が営まれていると高く評価され、2013年に日本で初めて加盟が認められました。

しかし松島湾を取り巻く環境は、2011年の東日本大震災で発生した津波により大きく変化してしまいました。代表的な例が藻場<sup>もば</sup>の流失です。震災前、松島湾にはアマモやアカモクなどの広大な藻場が広がっていましたが、津波によりその約99%が流されてしまいました。藻場は水質を良くするだけでなく、小魚などの生き物のすみかとなり、生態系の起点となります。2021年で震災から10年が経過しても震災前の30%程度しか戻っていません。豊かな松島湾を取り戻すため、様々な団体が協力をしながら藻場の再生活動に取り組んでいます。



再生活動に向けアマモを採取するダイバー



海中のアマモ

### キーワード

松島湾 多島海 海面上昇  
日本三景 景勝地<sup>りくぜん</sup> 陸前松島 林春齋  
世界で最も美しい湾クラブ 藻場  
アマモ アカモク 生態系 かき養殖  
自然の恵み 東日本大震災 津波

### 代表的な探究スポット

松島湾観光遊覧船 (18ページ)  
ふくうらじま 福浦島 (19ページ) ふくうらばし 福浦橋 (19ページ)



## 減災・防災

# 「松島町の震災復興」



松島町公式YouTubeチャンネル  
東日本大震災の伝承  
<https://youtu.be/z8Sv9qrH8iM>

東日本大震災で大きな被害を受けた松島町。その影響と復興への取り組みを学びながら、未来に伝えるべきものや、未来に誇るべきものについて考えてみよう。

2011年3月11日に発生した東日本大震災の津波により、太平洋側の沿岸部は大きな被害を受けました。宮城県の沿岸部に位置する松島町も同様に被害を受けましたが、湾内に浮かぶ260余りの島々が自然の防波堤となったことにより、津波の被害は最小限にとどめられたと言われています。

震災当時、松島町内には国内外から訪れた観光客約1200人が滞在していました。その土地をよく知らない観光客が安全に避難をするには支援が必要となります。地震発生直後、海岸エリアの事業者などが観光客を高台へ誘導し、地元住民も一緒になって避難をしたことで、奇跡的にも人的被害はありませんでした。瑞巖寺や町内の各宿泊施設も避難所として被災者を受け入れ、震災から4日後には全員無事に帰路につくことができました。被災地の復旧・復興作業が本格化すると、町内の宿泊施設を拠点に工事関係者などが各地で作業にあたりました。

津波が引いた後、海岸エリアは瓦礫やヘドロで覆われていました。松島町の観光復興が被災地の復興にもつながると、水道などのライフラインが断裂されている中でも、地元の事業者や住民は、全国から駆け付けたボランティアの手助けを受けながら復旧作業にあたりました。そして震災から約1か月後、瑞巖寺と円通院の拝観が再開し、ゴールデンウィーク前には遊覧船の運行も再開され、7月末にはほとんどの事業者が営業を行うことができました。そこには東北を代表する観光地として、全国や世界に東北の元気な姿を見せたいと奮闘する地域の姿がありました。



打ち上げられた船舶



震災直後に陽徳院へ避難した人々

### キーワード

東日本大震災 津波 観光復興  
復旧・復興工事 瑞巖寺 遊覧船  
地域の協力

### 代表的な探究スポット

瑞巖寺 (12ページ) おしま 雄島 (14ページ)

震災復興語り部クルーズ (15ページ)  
ふくうらばし 福浦橋 (19ページ)



# 行程を決めよう



行程を考えるには、右のスポット間の移動時間目安や以下のマップを参考に考えよう。休憩（トイレ、昼食など）をどこで挟むかなど、現地で困らないように組み立てよう。

徒歩での所要時間	瑞巖寺	円通院	五大堂	観瀾亭	遊覧船	雄島	福浦橋
瑞巖寺		1分	5分	5分	4分	15分	10分
円通院	1分		6分	6分	5分	14分	11分
五大堂	5分	6分		3分	2分	12分	5分
観瀾亭	5分	6分	3分		1分	10分	8分
遊覧船	4分	5分	2分	1分		11分	7分
雄島	15分	14分	12分	10分	11分		17分
福浦橋	10分	11分	5分	8分	7分	17分	



**出発** 時間 :

---

↓

行先 \_\_\_\_\_

時間 : ~ :

徒歩 分

行先 \_\_\_\_\_

時間 : ~ :

徒歩 分

行先 \_\_\_\_\_

時間 : ~ :

徒歩 分

徒歩 分

---

行先 \_\_\_\_\_

時間 : ~ :

徒歩 分

行先 \_\_\_\_\_

時間 : ~ :

徒歩 分

↓

**集合** 時間 :

---

# STEP 2 現地での学習

---

このSTEPの手順

1. キーワードに関係することを見つける
2. 旅の中で見つけた松島町の魅力を書き留める

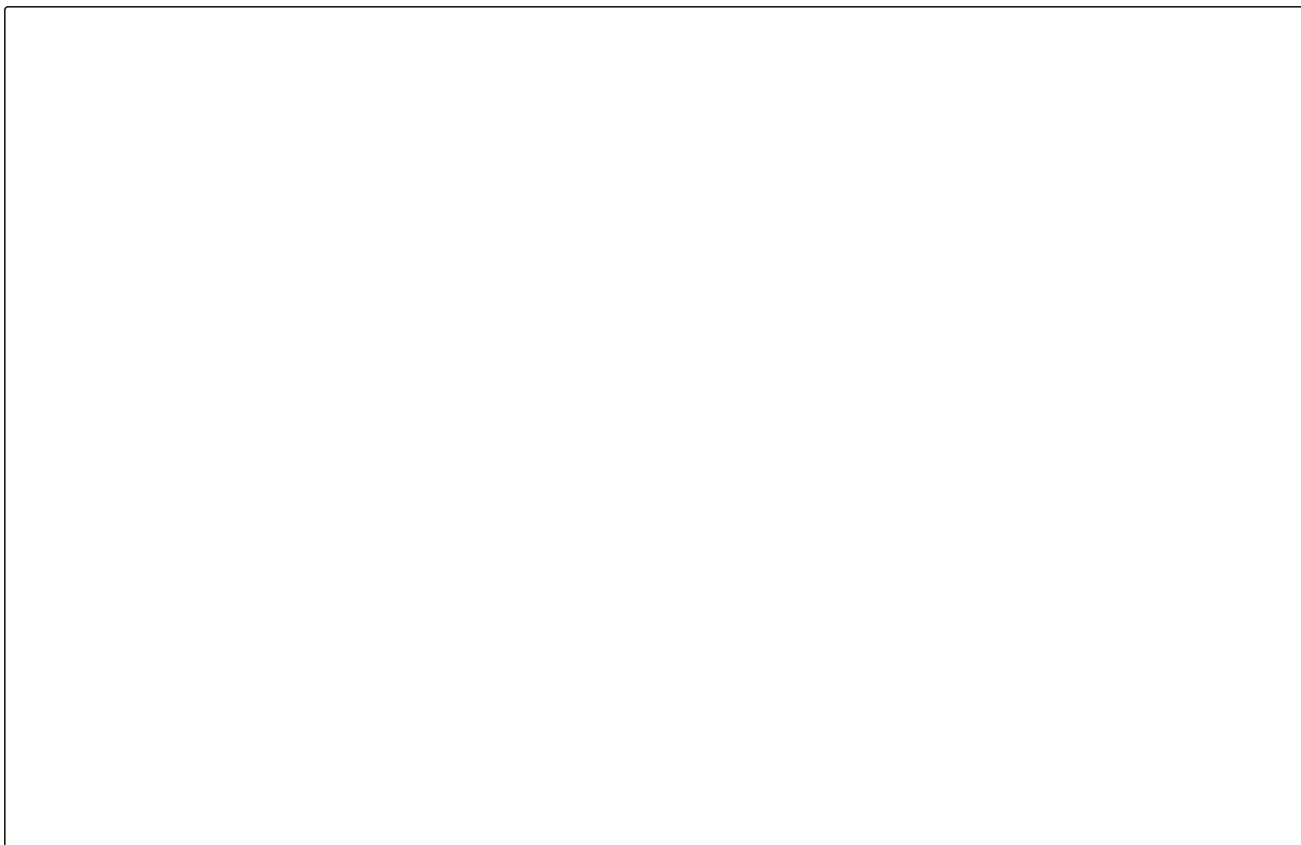
## 1 キーワードに関係することを見つける

---

キーワードに関係すると感じたものを写真に撮ろう。

また、どんな印象を持ったかを書き留めておこう。

もし、地元の方にお話しが聞けるようなら、マナーに注意しながら声をかけてみよう。



## 2 旅の中で見つけた松島町の魅力を書き留める

---

旅の中で見つけた松島町の魅力とは何だろうか？ 右ページに書き留めておこう。

このとき、SDGsで配慮すべき「3つの領域」を意識できているとGOODだ。

アドバイス

感じた魅力に正解や間違いはない。人とは違う自分らしい「松島町の魅力」を探してみよう！

## 旅の中で見つけた松島町の魅力

### ① SDGsの3つの領域に関するもの

経済	社会・文化	環境

### ② 風土に関するもの

また、松島町の魅力は紹介した探究スポットだけではない。食事休憩、買い物、移動の途中でも松島町ならではの魅力を見つけれられるだろう。ぜひ、23ページの説明を参考にして「風土の魅力」に目を向けてみよう（例：名産品を使ったお土産やグルメ、イベントなど）。そして下記の図表を用いて、新しいもの（風の要素）と元からあるもの（土の要素）とに分けてみよう。それが、町の魅力をより深く理解するヒントになっていくだろう。みなさんは今回の松島探究旅行の中で、どこまで風と土が合わさって生まれた風土の魅力を発見できるだろうか？

見つけた魅力 <small>(スポット、取り組み、商品・サービスなど)</small>	風の要素 <small>(新しいもの)</small>	土の要素 <small>(元からあるもの)</small>	その理由
例) 松島紅葉ライトアップ	ライトアップ	文化財	文化財や景観を活かしたイベントを実施して、集客につながっている



🕒 所要時間を表す

A

ずいがんじ  
瑞巖寺

国宝・国重要文化財

※本堂・庫裡・宝物館内は撮影禁止です。

🏛️  
歴史・文化

🛡️  
減災・防災

🕒 本堂・宝物館：60分  
洞窟遺跡群：20分

☎️ 022-354-2023  
休 無休  
料 中学生400円  
高校生700円

桃山文化を伝える国宝瑞巖寺は、松島観光に欠かせない文化遺産です。現在の建物は、1609年に仙台藩祖・伊達政宗が再興させたもので、歴代藩主の位牌を安置する伊達家の菩提寺としても知られています。

禅寺らしい落ち着いた外観に対し、内部はきらびやかな彫刻や障壁画で飾られています。本堂は10の部屋に分けられ、法要を行う「室中（孔雀の間）」、藩主席の「上段の間」、天皇や皇族の御座所「上々段の間」など使い方が異なり、格式に合わせた造りになっています。中でも「欄間の彫刻」は注目したいポイントのひとつ。最も格式の高い室中（孔雀の間）には「透かし彫り」の彫刻が施され、他の部屋の彫刻とは異なっています。ぜひ見比べてみましょう。



室中（孔雀の間）



本堂外観

資料

平成の大修理と東日本大震災

2018年の6月、瑞巖寺では約10年に渡った「平成の大修理」が完了し、盛大なお祝い行事が行われました。東日本大震災が発生した当時、瑞巖寺はこの大修理により本堂の瓦は全て下ろされ、骨組みだけの姿になっていました。そのため建物や所蔵品の一部に被害はあったものの、壊滅的な崩壊は避けられたと言われています。しかしながら、総門や約200mの参道には津波が押し寄せ、約500本の杉が塩害により伐採されてしまいました。中には樹齢400年近い古木もありました。総門側から見て左側の被害が大きかったのは、右側に比べて地盤が低いからです。

本堂の瓦は、過去に何度も修理が行われてきました。主な原因は地震や凍害による破損です。平成の大修理では全ての瓦に打音調査を行い、問題の無いものは右側から年代別に区分けし並べられています。今回の改修工事では約3万枚が新たに作成されました。中門側から見ると右側から色が変わっているのがよく分かります。

また、平成の大修理では「筋違」という耐震の補強がなされていることも分かりました。日本で筋違が普及するのは江

戸時代の安政以降で、室町時代の建築物からも一部に使用された例は見つかっていましたが、瑞巖寺のように建物全体に採用されている例は見られません。1596年に京都で大地震（慶長伏見地震）があり、伏見城が大きな被害を受けたことを意識してこのような補強をしたのではないかとされています。東日本大震災の際に本堂の被害が最小限に抑えられたのは、瓦が全て下ろされた状態だったことと、この筋違があったことによると考えられています。



平成の大修理で使用されていることが判明した「筋違」

※営業時間や団体割引などは掲載しておりません。各施設にお問い合わせください。

B

## えんつういん 円通院

🕒 30～40分

☎ 022-354-3206

休 無休

料 中学生100円

高校生150円

季節の移ろいが楽しめる美しい庭園が魅力の円通院は、伊達政宗の孫・伊達光宗の菩提寺です。19歳の若さで江戸で亡くなった光宗の死を悲しみ、父である二代藩主・忠宗が1647年に創建しました。

国重要文化財にも指定されている三慧殿は、光宗の霊廟です。内部には光宗の騎馬像を祀る厨子があり、よく見るとスイセンやバラ、スペードやハートなどの模様が描かれているのが分かります。一説では、政宗の命によりローマなどに派遣された支倉常長が持ち帰った西洋の文化を伝えていると言われています。

国重要文化財



歴史・文化



バラやもみじなど四季の移ろいを感じられる庭園を備える



西洋文化の影響を感じさせる光宗の厨子

資料

## さんれいびよう 松島三霊廟

伊達家の菩提寺である瑞巖寺の周りには、円通院、陽徳院、天麟院という三つのお寺があります。この三院の霊屋は「松島三霊廟」といわれ、いずれも伊達家にゆかりがあります。

陽徳院は伊達政宗の正室・愛姫の修養道場として、息子である二代藩主・忠宗が1650年に開創しました。修行道場のため一般公開は行っておりませんが、東日本大震災の発生直後は観光客や地域住民の避難場所としての機能を果たし、まさに「駆け込み寺」として人々の命を守りました。

天麟院は1658年に創建された、政宗と愛姫の長女・五郎八姫の菩提寺です。愛姫が子どもを授かった際、政宗は男児の名前である「五郎八（ごろはち）」を考えていました。しかし予想に反して女兒が生まれたので、その漢字を使って「五郎八姫（いろはひめ）」と名付けたと言われています。

瑞巖寺境内にある宝物館（青龍殿）には、伊達政宗、陽徳院愛姫、天麟院五郎八姫の木像が展示されています。政宗は独眼竜としても知られていますが、政宗の遺言により、この木像には両目が備わっています。



陽徳院の霊屋

※拝観はできません



天麟院



宝物館に展示されている伊達政宗像

C

## ごだいどう 五大堂

国重要文化財



歴史・文化

☺ 20～30分

☎ 022-354-2023

休 無休

料 無料

松島のシンボルである五大堂は、1604年、伊達政宗だてまさむねにより創建されました。もともとは807年に坂上田村麻呂さかのうえのたむらもろが毘沙門天びしゃもんてんを祀ったのがはじまりで、828年に慈覚大師じかくたいし円仁えんにんが五大明王像を安置したことから五大堂と呼ばれるようになりました。33年に1度御開帳ごかいちようを行っており、次回は2039年の予定です。

五大堂への一本目の橋を渡ったところにある「松島八幡はちまん」という小さなお堂は、疫病などの悪疫退散のために建てられたと伝えられています。



五大堂へ渡る透かし橋からは5m下の海面がのぞける

D

## かんらんてい 観瀾亭

県有形文化財



歴史・文化

☺ 30～40分

☎ 022-353-3355

休 無休

料 中学生100円

高校生150円

伊達家の御仮屋御殿だておかりやごてんとして建てられたもので、もともとは伊達政宗が豊臣秀吉から譲り受けた伏見城ふしみじょうの一棟でした。政宗が江戸に移したものを、二代藩主・忠宗ただむねが現在地に移し、藩主や家族が松島を訪れた際の宿泊施設などとして使われていました。観瀾は「さざなみを見る」という意味です。現在は一部のみ残っていますが、江戸時代の終わりまでは、宿泊に必要な施設など11棟あまりの建物が存在していました。



桃山文化の息吹を感じられる豪華な内装

E

## おしま 雄島

国重要文化財



歴史・文化



減災・防災

☺ 20～30分

休 無休

料 無料

雄島は平安時代から和歌に詠まれるなど、歌枕うたまくらとして知られていました。この地で見仏上人けんぶつしょうにんが1104年から12年間修行し、そのことを讃えた鳥羽天皇から松を1,000本賜ったことが「松島」の名前の由来となったと言われています。

俳聖・松尾芭蕉まつおばしやうは歌枕の地を求めて全国を旅し、この松島も訪れました。「おくのほそ道」の記述によると、芭蕉とその弟子・曾良そらは塩竈から出港し、雄島に上陸したとされています。

雄島に渡る渡月橋とげつきょうの正式な完成時期は分かっていませんが、14世紀半ばころの絵画にはすでに描かれているものもありました。以前の橋は東日本大震災による津波で流され、現在の橋は2015年に再建されたものです。



島内の岩窟には卒塔婆（そとば）を彫りつけた修行跡がいくつも残る



悪縁を断ち切るとされる渡月橋



以前の渡月橋は震災時の津波により流されてしまった

## 東日本大震災の当時の様子

東日本大震災の発生当時、瑞巖寺<sup>ずいがんじ</sup>や町内の各宿泊施設は避難所として被災者を受け入れていました。高台に建つ「ホテル松島大観荘<sup>たいかんそう</sup>」も、避難所として使われた宿泊施設の一つです。安全のために宴会場にみんなが集まり、ガスコンロ等で炊き出しをし、個室から集めた布団で寝泊まりをしました。断水はしていたものの、食材は週末の分もまとめて仕入れてあったため、数日は心配がいらぬほどでした。被災から4日後の3月15日には利用客のほとんどが帰宅し、4月3日には営業を再開。その後は、復旧・復興工事の関係者や全国から応援に来た警察官の宿泊拠点として活動を支援しました。従業員たちは不安になりながらも被災直後に全員で話し合い、「やれるところまでやってみよう」と決めていたそうです。

また、松島のシンボル五大堂<sup>ごだいどう</sup>のすぐ近くにある土産物屋「尾張屋<sup>おわりや</sup>」は8月6日に営業を再開。オーナーは被災直後には先行きの不安を抱えていたものの、復旧・復興工事の関係者が観光や息抜きとして訪れてくれることもあり、松島の景観で癒されたり、松島のにぎわいから元気をもらった

りしている様子を見て頑張る気持ちになったといえます。そんな松島の眺めを大切にしたいと、観光地エリアの堤防を含む復興工事では、近隣の事業者で作る商店会の皆さんで迅速な避難・誘導を心掛け、計画よりも低めの高さにしてもらえるよう要望。現在、地域の声が生かされ、松島湾を見ながら商店街を楽しんでもらえています。

## F

## 震災講話

☎ 022-354-2618 ((一社)松島観光協会)  
料 有料(要事前予約)

松島観光協会会長が、町内の宿泊施設などで震災当時の様子や復興の様子をお伝えします。(一社)松島観光協会では「震災パネル展示コーナー(無料)」も実施しています。

## G

## 震災復興 語り部クルーズ



環境



減災・防災

## 丸文松島汽船株式会社

☎ 40～50分

☎ 022-354-3453

休 無休(要事前予約)

料 中・高生1,050円

東日本大震災の際、地震や津波の被害を受けつつも、観光客がケガなく避難できた理由と、その時の状況、その後の復興について、松島湾を遊覧しながら案内します。語り部さんを通じ、未来へ踏み出す一歩として、人とのつながりや人の心の痛みを知ろうとすることの大切さを伝えてくれます。



語り部さんが語る話は未来に向かうための大切なことに気づかせてくれる

## H

## 松島の人に聞いてみよう

### 松島高等学校観光科 交流プログラム

☎ 022-265-8722  
(みやぎ教育旅行等コーディネート支援センター)

観光科の生徒たちが授業のカリキュラムの一環で、修学旅行生に観光ボランティアガイドを行うプログラムです。同年代ならではの交流も魅力です。

## I

## 株式会社松観(瑞巖寺・五大堂ガイド)

☎ 022-354-3218  
休 無休(要事前予約)  
料 有料(人数により異なる)

瑞巖寺<sup>ずいがんじ</sup>と五大堂<sup>ごだいどう</sup>の観光案内を行います。地元のガイドさんによる知られざる松島の歴史は必聴。

## J

## 松島ボランティアガイド

☎ 022-354-2618 ((一社)松島観光協会内)  
休 年末年始(1週間前までの要事前予約)  
料 有料(コース、人数により異なる)

日本三景松島を歩きながら、日本遺産<sup>まさむね</sup>「政宗が育んだ<sup>だて</sup>“伊達<sup>だて</sup>”な文化」をお楽しみいただけます(瑞巖寺<sup>ずいがんじ</sup>の案内は除く)。



環境

資料

## 世界で最も美しい湾クラブ加盟湾としての取り組み

「世界で最も美しい湾クラブ」は、フランスのヴァンヌ市に本部を置く非政府組織（NGO）です。1997年に湾を活用した観光振興や地球環境保護、観光資源の保全を目的に設立されました。

フランスのモルビアン湾やモンサンミッシェル湾、ベトナムのハロン湾など25の国・地域の45湾が加盟するグローバルな組織で（2020年8月末時点）、松島湾は2013年に日本で初めて加盟が認められました。松島湾は、『いにしえから人々を魅了し、今なおその美しい景観を保ち、代表的な名産であるかきなどの海の恵みを受けながら人々が生活を営む姿がある』と高い評価を受けました。

現在、松島湾のほか、日本国内では富山湾（富山県）、駿河湾（静岡県）、宮津湾・伊根湾（京都府）、九十九島湾（長崎県）

が加盟しています。

同組織に加盟する湾は、それぞれが「湾の持続可能な発展のための環境保全」の取り組みを実施しています。



加盟湾の代表者たち



富山湾（富山県）

3,000m級の立山（たてやま）連峰を海越しに望む富山湾



駿河湾（静岡県）

世界遺産の富士山と湾が絶景を織りなす駿河湾



宮津湾（京都府）

日本三景の天橋立（あまのはしだて）の眺望が広がる宮津湾



伊根湾（京都府）

伝統的な舟屋（ふなや）が立ち並ぶ伊根湾



九十九島湾（長崎県）

リアス海岸と208の島々が美しい九十九島湾

資料

## 松島湾清掃ツアー

美しい松島湾を次世代へ残すため、観光客と共に行う松島湾の環境保全活動として実施しています。参加者は松島海岸エリアや福浦島の清掃を行ったあと、松島温泉や歴史文化遺産などを楽しんでいただきます。松島湾を守る当事者としての認識を再認識しながら、松島の魅力を味わえる取り組みとなっています。



湾の景色も楽しみながら行う清掃活動

資料

## 松島“湾”ダーランド構想

松島湾を取り囲む3市3町（塩竈市、多賀城市、東松島市、松島町、七ヶ浜町、利府町）と宮城県が連携して観光振興に取り組むプロジェクトです。松島湾の魅力伝えるPR活動や受入体制整備（多言語パンフレットの制作や広域観光案内板の整備）などの活動が行われています。



松島湾でつながる自治体連携の活動



## 藻場の役割

アマモやアカモクなどの海草／海藻が茂る場所は「藻場」と呼ばれ、小魚などが外敵から身を隠したり、餌場や産卵の場所になります。そのことから、藻場は多種多様な生物を育む「海のゆりかご」とも呼ばれています。

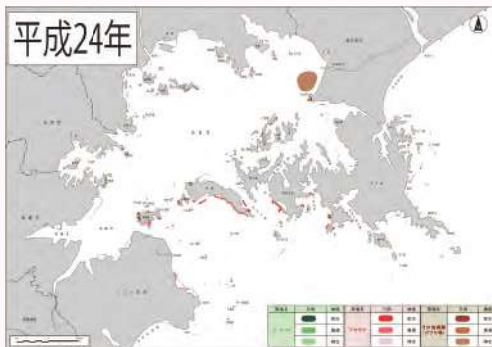
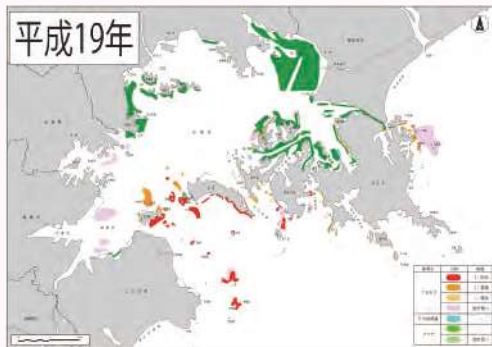
また、藻場には水質を改善する働きもあります。アマモは地上の植物と同様に光合成を行うことで、海水中の二酸化炭素を吸収するほか、赤潮の原因となる海水中の過剰なリンや窒素を栄養分として取り込むため、豊かな海を形成する起点となるのです。

## 津波で壊滅的な被害を受けた松島湾の藻場

松島湾にも、かつては広大な藻場が広がっていました。しかし東日本大震災に伴う津波により、その99%が流失してしまいました。環境生態工学研究所（仙台市）では、地元漁業者などの協力により、松島湾の藻場分布状況のモニタリング調査を実施していますが、震災発生から10年目を迎えても30%程度の回復にとどまっています。原因の一つとしては、津波により湾の底質が藻場の生育に適さない泥地になってしまったことなどが挙げられ、藻場再生にはアマモやアカモクが生育しやすい底質に改善することが必要でした。

## 豊かな松島湾を未来へ継承するために

環境生態工学研究所では、松島町、地元漁業者、松島高等学校などと連携し、2018年から「松島湾藻場再生事業」を実施しています。主な内容として、藻場の生育に適した底質にするために、毎年8月と11月に福浦橋を渡る観光客に協力してもらい、橋の上から砂団子や石を投げ入れるイベントを開催しています。参加者はイベントを楽しみながら藻場の大切さを再認識し、松島湾の環境改善に協力できる仕組みになっています。



松島湾の藻場分布図。緑はアマモ、赤やオレンジはアカモクの分布を示す。震災後は大幅に減少しているのが分かる



底質を砂地に変えるための砂団子

K

## 松島高等学校観光科 交流プログラム

## 「アマモ場再生活動体験」

みやぎ教育旅行等  
コーディネート支援センター

☎ 022-265-8722

松島高等学校観光科の交流プログラムの一環で、松島の観光名所福浦橋にて、観光科の生徒たちと松島湾のアマモ場再生活動を体験できます。一緒に福浦橋から砂団子を投げ入れ、アマモの生育に適した底質に変えていきましょう。

※学校事業によりご依頼をお受けできない場合がございます。あらかじめご了承ください。



環境

# 松島湾観光遊覧船



環境

☺	30～60分
休	無休
料	有料（料金は各社へお問い合わせください）

## 松島島巡り観光船企業組合

☎ 022-354-2233

## 丸文松島汽船株式会社

☎ 022-354-3453

## ニュー松島観光船株式会社

☎ 022-355-0377

世界で最も美しい湾クラブに加盟する松島湾の美しい景観は、古来より歌枕うたまくらの地として親しまれていました。2011年に発生した東日本大震災では、湾内に浮かぶ島々が自然の防波堤となり、人々の命を守ったと言われています。遊覧船では、船内から島々を間近で見ることができ、松島ならではの風景を楽しめます。



奇岩が次々と現れる風景は松島ならではの

## 松島湾の島々

松島湾には大小260余りの島々が浮かんでおり、それぞれの島には名前が付いています。伊達政宗だてまさむねが形を気に入り、仙台城まで運んだ者に千貫文せんがんもんを与えと言ったことから名付けられた「千貫島」。亀と鯨に似た島が寄り添っているように見える「双子島」。仁王様の形に似ている「仁王島」などがあります。



伊達政宗のお気に入りだった千貫島



仁王島



双子島

資料

## 松島の松を守る



環境

青い海と松の緑が作り出す絶景で日本三景のひとつとして知られている松島。松の島々の美しい景観を守るため、「マツ枯れ対策」が行われています。マツ枯れとは、マツノマダラカミキリという昆虫を媒介し、マツノサイセンチュウという小さな線虫が松に侵入・感染することで起こります。マツ枯れ対策としては、薬剤を散布する「空中散布」や「地上散布」、松の木に直接薬剤を注入する「樹幹注入じゅかん」などが行われます。

また、枯れた松は伐倒し、他の健康な木に虫が移らないよう処理されます。その後、抵抗性苗木を新たに植樹することで、将来的にも美しい景観を守れるような取り組みが行われています。



薬剤の地上散布

# ふくうらじま 福浦島 ふくうらばし 福浦橋



🕒 30 ~ 90分

☎ 022-354-3457  
休 無休  
料 中学生 100円 高校生 200円

全長252mの朱色の福浦橋は通称・出会い橋と呼ばれ、渡ると良縁に恵まれると言われています。現在の橋は1967年に完成したもので、それ以前は木造の橋が架かっていました。東日本大震災では橋脚が破損する被害を受けましたが、2012年6月に修理が完了しています。修理費用には台湾の日月潭からの義援金なども活用されたため、「台湾との絆の架け橋」としても知られています。

福浦島内には赤松やツバキなど300種を超える植物が自生し、自然公園として保護されています。



良縁と出会える福浦橋。台湾との交流も育まれた



東日本大震災で破損した橋脚

資料

## 松島の海と大地の恵み



### 松島かき

松島湾はかきの産地として有名です。大正末年に松島湾内などで「簡易垂下式養殖法」が始まって以来改良が重ねられ、かきの養殖が飛躍的に発展しました。現在、松島町では浅瀬に適した木架式養殖で養殖が行われています。松島かきの旬は10月から3月くらいまで。小粒ながら甘みがあり、身がしまっているのが特徴で、生食や蒸し焼き、かき鍋、天ぷらなど食べ方は様々です。2月には「松島かき祭り」が開催されるほか、町内参加店による「かき丼キャンペーン」では、工夫を凝らしたかき丼が提供されます。



かきの旬にはかき小屋がオープンする

### あなご

かきの旬は冬ですが、初夏から9月ごろまではあなごが旬を迎えます。松島周辺では「ハモ」とも呼ばれています。脂のついた身はふっくらと柔らかく、白焼きや天ぷら、かば焼きなど楽しみ方が様々。新鮮なあなごは生で寿司ネタとしても提供されています。町内参加店による「あなご丼キャンペーン」では、煮あなご丼や天丼など、各店自慢の味を楽しめます。



各店で工夫を凝らしたあなご丼が楽しめる

### 多彩な農作物

松島の名産は海産物だけではなく、「松島とまと」や「松島白菜」、環境保全米の「めぐの舞」「いろはの舞」といった農作物も豊富です。松島で収穫された農作物などは、町内の宿泊施設や飲食店でも提供され、観光客の皆さんにも楽しんでいただいています。このように地産地消に積極的に取り組んでいる施設は、「食材王国みやぎ地産地消推進店」として登録されています。

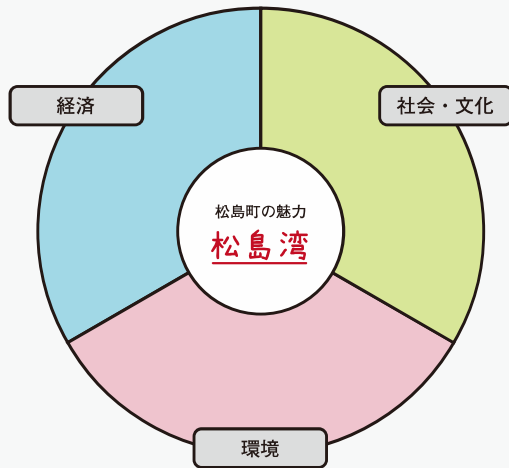


松島名産のトマト「松島とまと」は日持ちが良く、皮・身がしっかりしている

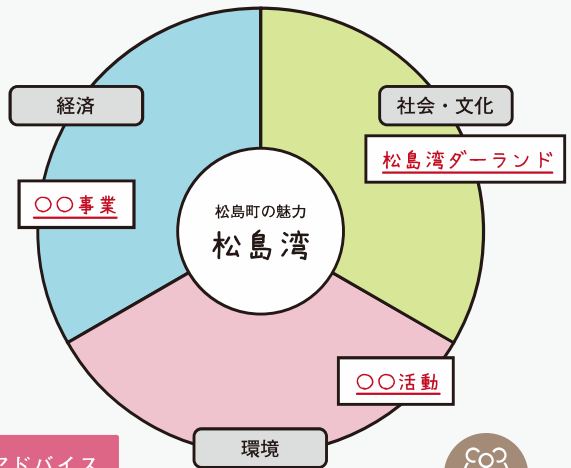
# STEP 3 まとめ 松島町の魅力

以下の手順で右ページのワークシートに記入し、SDGsの3つのPOINT、3つの領域を軸に松島町の魅力への理解を深めよう

例  
1 自分が見つけた  
松島町の魅力を中心に書き出す



例  
2 3つの領域に、魅力を支える  
要素・取り組みを埋める

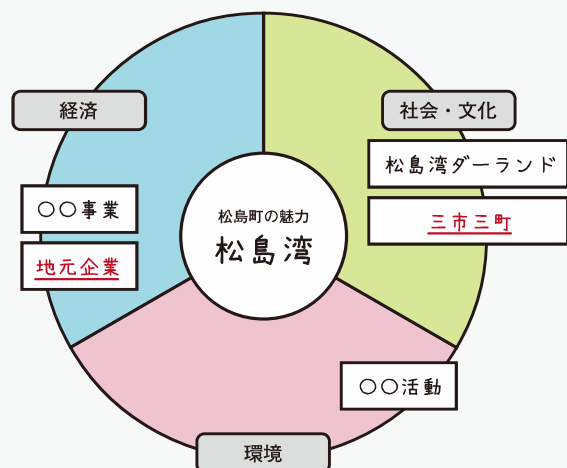


アドバイス

全部の領域が埋まらなくても大丈夫。  
こんな取り組みがあれば・・・というアイデアを記入しておこう。  
そして、クラスメイトとも見せ合って意見交換してみよう！



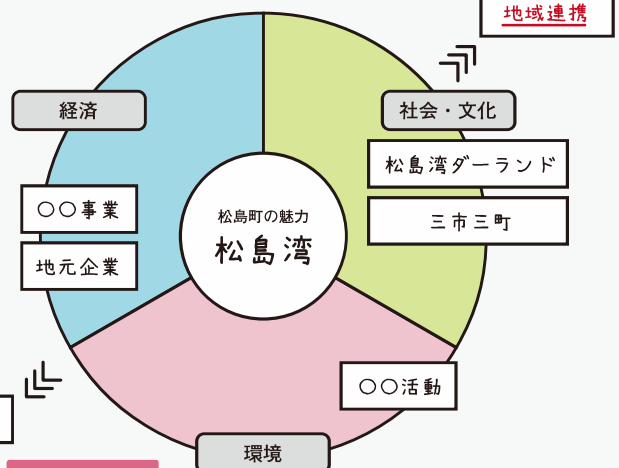
例  
3 取り組んでいる人、  
支えている人たちを書き加える



アドバイス

各取り組みを支えてくれる人たちも書き加えてみよう

例  
4 魅力から広がっている成果を  
まとめてみよう！



アドバイス

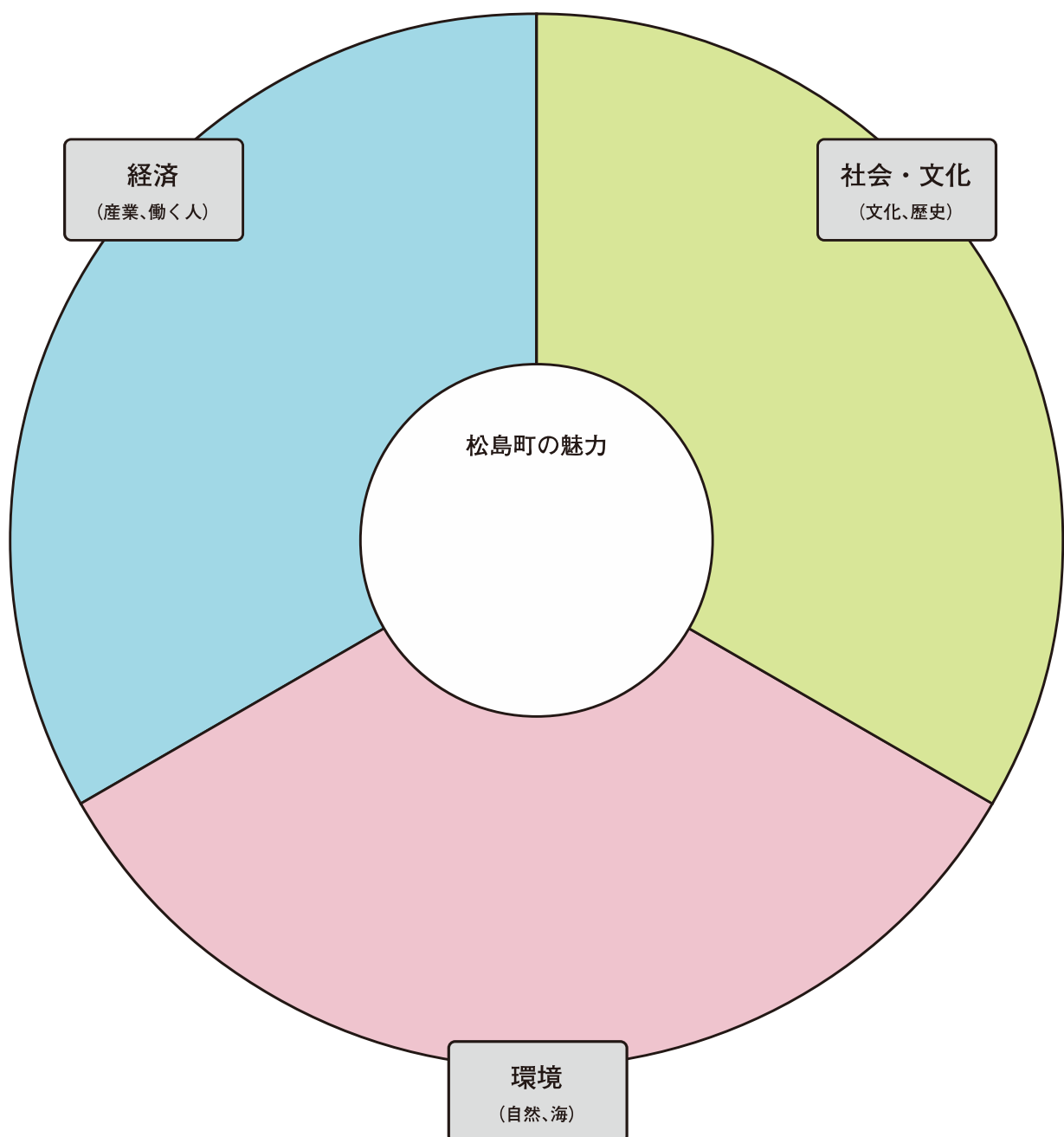
このとき、領域間の連携も検討しながら、  
同時に好影響があるものを探せるとなおい。それは、SDGsの同時解決性に寄与していることになる。

うまくいかない場合は  
戻ってみよう

## 実際にやってみよう



下の図に自分で松島町の魅力をまとめられたら、それをグループで共有しよう。  
STEP4で取り組む **自分たちの地域の魅力を探すヒント** にしよう。



# STEP 4 発展 自分たちの地域の魅力

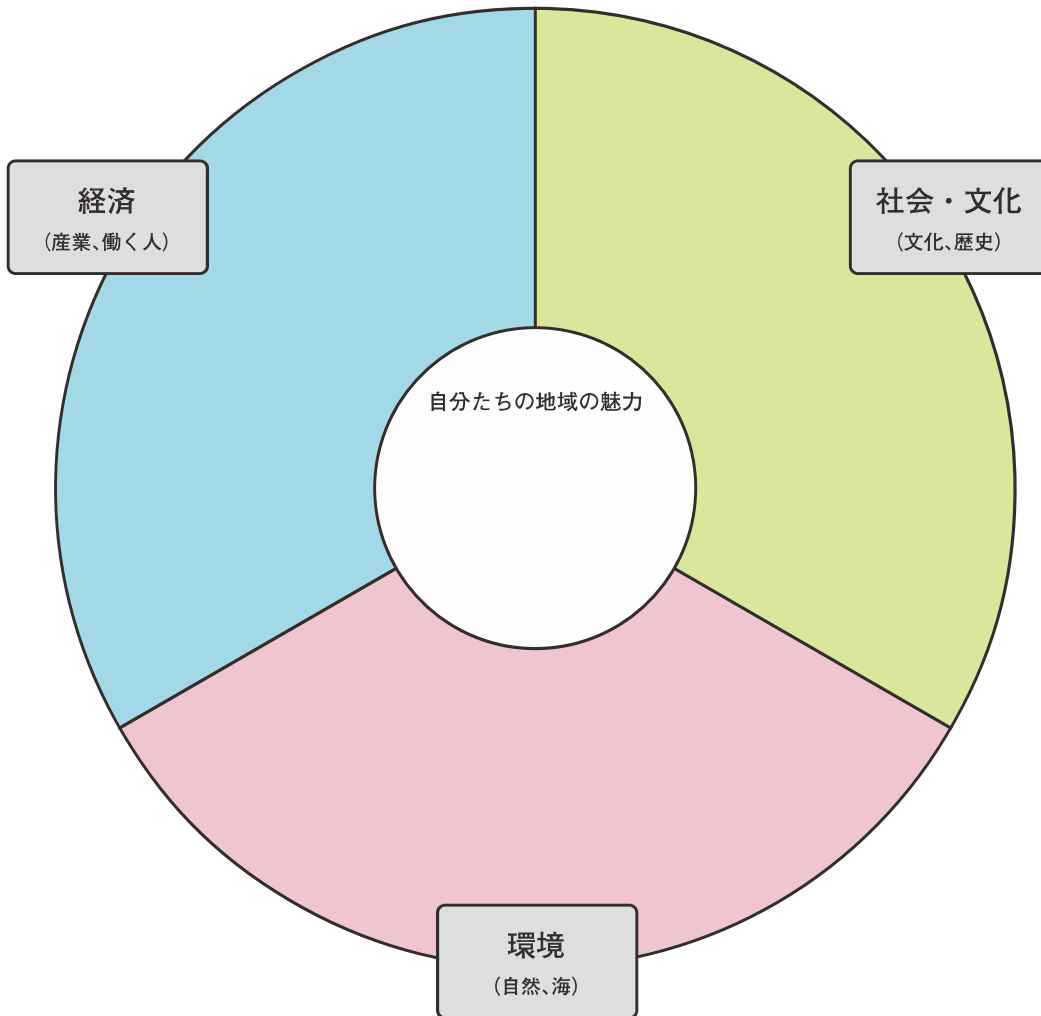


松島町で見つけた魅力を参考に、育てたい自分たちの地域の魅力についても、グループでまとめてみよう。

## 1 松島町と同様に自分たちの地域の魅力を予測して書き出し、整理してみる



自分の地域にある魅力を予測・想像して書き出し、以下の円図に松島町のときと同じ要領で、グループで意見を出し合いながらまとめてみよう。



## 2 「風土」の【風】【土】について考える



次のページの「風土の説明」を見ながら、予測・想像した地域の魅力を構成する「土の要素」に、どんな新しい「風の要素」が組み合わさると、新しい魅力の「芽」となって育つのが自分たちなりに考えてみよう。

**土の要素**  
(元からあるもの)

**風の要素**  
(新しいもの)

**育てたい芽**  
(新しい魅力)

<input type="text"/>	+	<input type="text"/>	=	<input type="text"/>
<input type="text"/>	+	<input type="text"/>	=	<input type="text"/>

## 地域の魅力を育む「風」と「土」が風土となっていく

ここから先は、みなさんの心の中、そして将来への旅になる。  
地域の魅力を持続的により発展させていくために、「風土」というものを考えてみよう。

風土とは、ある土地の気候や景観、そしてそれらによって住民たちの文化形成に影響を与えるような環境のこと。  
それを本書では、「よそから新しい要素をもたらす“風”」と  
「元からある伝統的な要素である“土”」のかけ合わせによって新たな魅力を生み出す活動になぞらえている。

今回の活動で得た学び・気づきが、新しい風となって地域の魅力を生み出すかもしれない。  
あるいは、あなた自身が風に乗って運ばれる種子となり、別の地域で“芽”として芽吹くのもかもしれない。  
地元に根ざすあなたが、風が運んでくる種子を新たな魅力として育む豊かな土になるのもかもしれない。

あなたはどんな役回りで、どんな魅力を芽吹かせるのだろうか。  
さあ、はじめよう。



### 松島 × 探究

～地域の魅力に触れて体感するSDGs～

2021年3月発行

発行：宮城県松島町

制作協力：佐藤真久（東京都市大学大学院環境情報学研究所教授）

田村学（國學院大学人間開発学部初等教育学科教授）

木村諭史（千葉大学工学部都市環境システムコース非常勤講師）

本書の全部または一部を無断で複写・複製することは、著作権に基づき禁じられています。

本書の解説書・指導書・ワークブック並びにこれに類するものの無断発行を禁じます。

©2021 Town of Matsushima

# 宮城県松島町

## 松島町の概要

松島町は宮城県の沿岸部中央にあり、  
仙台市の北東約20kmに位置しています。  
年間を通して平均気温が11℃から12℃と比較的温暖な気候で、  
東北地方でも降雪量が少ない地域です。

日本三景のひとつに数えられる東北有数の観光地で、  
国宝瑞巖寺などの歴史文化遺産が町内各地にのこされている  
歴史の町でもあります。

面積：53.56km<sup>2</sup>

人口：13,646人（2021年1月31日現在）

世帯数：5,661世帯（2021年1月31日現在）

## 東日本大震災の概況と松島町の被災状況

### 東日本大震災概況

発生日時：2011年3月11日（金）14時46分  
震央地名：三陸沖（北緯38.0度、東経143.9度 牡鹿半島の東約130km）  
震源の深さ：約24km  
規模：マグニチュード9.0（観測史上最大）

### 松島町の被災状況

#### (1) 震度および発生した津波

震度：6弱（宮城県の最大：栗原市・震度7）  
津波第1波：T.P.+2.2m（16時13分到達）※長田地区潮位計に基づく推計値  
津波第2波：T.P.+2.6m（16時40分到達）※長田地区潮位計に基づく推計値

#### (2) 被災状況

人的被害：町民で亡くなった方16人（町内で2人、町外で14人）  
行方不明者0人、重傷者3人、軽傷者34人  
津波による浸水面積：1.7km<sup>2</sup>（東日本大震災による被災現況調査結果）  
家屋等被害：全壊221戸、大規模半壊362戸  
半壊1,231戸、一部損壊1,562戸  
※上記のうち、床上浸水：192戸 床下浸水：91戸

#### (3) 避難所・避難者数（ピーク時：2011年3月12日）

避難所数：45箇所  
避難者数：3,719人

問合せ・資料請求先

〒981-0215 宮城県宮城郡松島町高城字帰命院下一19-1

松島町産業観光課観光班

TEL 022-354-5708

FAX 022-353-2041

E-mail kankou@town.matsushima.miyagi.jp

